

日芸みやぎ

日本大学芸術学部校友会
宮城江古田会 ニュース

日芸ホームカミングデー

高橋咲千子さんピアノ演奏

7月13日

7月13日(土)、9年ぶりとなるホームカミングデー・芸術でーす！」と他学科から返ってくるといういかにも日芸らしいやりとりを聴きながら、「日芸魂百まで…」とつぶやく私なのでした。

(佐藤 円・放送H5卒)

古田修学」となりました。私は所沢1期生なので、あれから30年。やっと叶った…そんな思いです。

「江古田に、おかえりなさい。」という今回のコピー。宮城江古田会からは桑折会長号に乗った塚崎前会長、酒井事務局長と、単独で向かった私佐藤が暗号を基に池袋で合流し、さらに、当たり前のように依田初代会長と江古田新校舎で合流という、まさに江古田の巣に帰着くように自然に集まりました。

ホームカミングデーでは就職支援セミナーやOBによる講演会が行われ、在校生よりもOBが熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。白熱の校友会総会を終えるといよいよ懇親会。高橋咲千子さんがアトラクションで登場します。

目に鮮やかなブルーのドレスに身を包み高橋さんが登場すると会場前方のグランドピアノ前にはたくさんカメラマンが集結。まるで撮影会のような雰囲気となりました。いつものように落ち着いた豊かな表現力でショパンの幻想即興曲などを披露。演奏が終わると木村政司学部長、田上竣詞校友会会長から握手を求められる場面もありました。

最後には参加者全員の記念写真撮影。各学科ごとの写真も欲しいとのことで学科別に呼び出されパチリ。放送学科が集まる際に「はい！一番偏差値の高い放送です！」と誰かが言うと「一番強面のそろっている放送



ホームカミングデーで演奏する
高橋咲千子さん



日芸歴史年表の前で

昨年開催されました「アートフェスティバル(宮城江古田会主催)」に、学部長と校友会会長がいらっしやっただのをきっかけに、ホームカミングデーで演奏する機会を与えて頂き、心より感謝申し上げます。当日は、日大の校歌を作曲した山田耕筰にちなんで「赤とんぼを主題にした変奏曲(赤とんぼ変奏曲)」や日大カラーの桜色から「さくらさくら幻想曲」等を演奏させて頂きました。

私は、東日本大震災をきっかけに、地元仙台に戻り音楽活動(リサ



木村政司学部長と宮城江古田会の応援団

イタル、日芸コンサート等)を行ってきました。その中で、小さい子供も入れるコンサートを行う等、音楽の裾野を広げる活動をしていることを、日本大学及び校友会の方々に知って頂き、ありがたく思っております。また、『日芸コンサートは、ここ仙台から輪が広がっていけば、地方に戻った卒業生の活性化にもつながり、ひいては大学の宣伝にもなる』と、PRできた事も良かったです(ちゃっかり、「大学や校友会からの補助金、協賛金が少しでも出ると嬉しい」の一言も付け加えて…)。なお、宮城江古田会の皆様には、当日もご協力を頂き、誠にありがとうございました。

(高橋咲千子・大学院音楽H22卒)



放送学科卒一同

新会員 森廣孝志さん

鳥取県米子市の老舗お菓子屋の末っ子として生まれ、小学生の時は山陰放送少年少女合唱団に所属、週2回放送局のラジオスタジオで練習していました。父からは家業を手伝って欲しいと言われていましたが、放送局への憧れと教育への興味が強く、家業は兄にお願いし、日芸放送学科へ入学しました。卒業制作はバレエ団の年末公演に密着してドキュメンタリーを作りました。撮影や編集よりプロセス管理や現場の調整の大変さを経験できました。

卒業後はマスコミのクライアントになる方向で当時深夜コマーシャルの王様「ブティックジョイ・じゅわいおうちゅーるマキ」に入社(ロンリーチャップリンが流行った頃)。その後、アルパインに転職。ここで世界の仲間と共同作業を経験し、ITの勘所を身につけたと思います。東日



本大震災の時期に専門学校
の広報室を経験、妻の親の
介護のために2014年に仙台
にきました。

今は飲食業界(鐘景閣)

で、観光をつないで地域を連携すべく東北復興と地産地消を起爆剤にインバウンド獲得したビジネス拡大を確立したいという夢を胸に邁進しております。海外とのコミュニケーションやプロモーションにおもてなしの経験が生きていると感じております。



前列右が私です

趣味は軽自動車のオープンカーで風の香りを感じながらのんびりドライブ、休日には妻と二人でランチパスポートをカバンに入れ出かけています。

今年の1月に息子の高校の吹奏楽コンサートで日芸コンサートのチラシを見つけたのをきっかけに校友会と繋がり、先輩達にお会いできました。学生時代の回顧も諦めていた状況でしたので、また日芸の繋がりに戻れて大変嬉しく生活にハリが出ました。何卒、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

(森廣孝志・放送H1卒)

〒981-1222 宮城県名取市上余田字大徳 415

携帯:070-4401-7486 自宅:022-383-5077

Mail: mrh@dream.jp

新会員 伊東義晃さん

皆様こんにちは。平成2年演劇学科に入学しつつ、何故か文芸学科卒の伊東と申します。学生時代は劇団を立ち上げ、脚本演出美術をしておりました。リンゼイケンブやスティーブンバーコフ、寺山修司などに憧れ、もっぱら顔を白塗りしていた日々です(笑)。前衛、アングラ、様々な呼び方はあるでしょうが、芸術というのは「世界観を問う」作業なんだと思って必死で活動していたように思います。そのような自意識過剰のはねっかえりですから、若気の至りで、不快な思いをさせてしまった友人、先生方、または不義理をした先生方も数多く、この場をお借りいたしまして深くお詫びさせていただきます。

一度、社会に出た後に大学院に戻り、明治時代における海外思想の受容や近代文学思想などの研究で博士後期課程まで進みましたが、その後、帰省しまして現在は仙台で鍼灸整骨院を



やっております。全く毛色の違う仕事のように思われがちですが、ある意味で、身体と世界観にまつわる究極の自己表現の場です。天職と心得ています。もう20年になりますが、日芸で学んだことが余すところなく活かされていることを実感しま

す。自らが求めれば、芸術とは横断的知識の宝庫です。学恩や朋友たちとひたすら語り合った日々や、読書をした日々が色褪せること無く、私の中に生きており、常に問いかけてきます。

実はこの度、書籍を出版することになりました。幻冬舎より来年の8月発売予定です。「怪力乱神を語らず(仮題)」

といいます。一応、整体に関する本のはずですが、「三つ子の魂百まで」とはよく言ったもので、やはり現代日本人の身体の不調に対する捉え方や一部の整体療術家の振る舞いを通して見えてくる「近代の陥穽」と言ったものを考える内容になっています。現在は専ら仕事の合間に編集と改稿の日々です。全国発売でKindle版もあります。ぜひ多くの方に読んでいただきたいと思います。また仙台に在住の同窓のみなさま、また遠方の方でも御来仙の折にはお気軽にご連絡ください。身体の不調についてはもちろん、食餌療法、文学思想哲学美術音楽、まさしくゆりかごから墓場まで(笑)、何でもご相談いただければと思います。



(伊東義晃 文芸H6卒・大学院芸術学研究科H12卒)

伊東鍼灸整骨院 仙台市若林区清水小路5-6-1103

Tel.022-266-5234 <https://sendai-seitai.jp/>

会 員 の 活 躍

県支部女子部会に参加しませんか 11月6日

日大校友会宮城県支部女子部会5周年を祝う会は、医学部卒でピアニストでもある山口慶子さんの「小児専門病院の現状と日本の課題」と題した講演で始まりました。小児へのDVの実態が眼科医の立場を通して切実に伝わり、私たちが何をすべきか考えさせられました。続いて食事会、アトラクションは「生け花とピアノのコラボ」。その後は山口さんの華麗なピアノ演奏に酔いしれました。実行委員からは「思い切って5周年を祝う会をして良かった」「楽しく何より

気持ちの良い会だった」「もっと男性会員にも見てほしかった」との声が聞かれました。今後女子部会会員を一層増やし、活動の輪を広げていきたいと思います。

(山田留美子・放送S43卒)



第4回日芸コンサート

3月23日

2019年3月23日(土)にパトナホールにて、4回目の「日芸コンサート」を開催しました。今年も300名近くの来場者があり、「日芸コンサート」が徐々に浸透してきた手応えを感じています。これもひとえに、日大校友会及び宮城江古田会の方々のご支援のお陰です。今年のコンサートは、前半には、色々な楽器を登場させたメドレー形式で『カルメン』を演奏し、後半には、『くるみ割り人形』をテーマとして、プロジェクタを用い、音楽と映像(RYOKO

(造形芸術卒))を融合してみました。また、現在日芸非常勤講師の山口慶子さん(医学部卒)にも演奏出演して頂きました。来年は、2020年3月8日(日)にパトナホールにて、「第5回日芸コンサート」を企画しています。音楽学科卒業生の演奏出演だけでなく、出品や展示、当日の運営・企画等に、多才な日芸卒業生の参加・応援を宜しくお願いします。(高橋咲千子・大学院音楽H22卒)



はあとふるコンサートVol.7 7月5日

7月5日、日立システムズホール仙台で女性ヴォーカルグループ「クローバーの会」による「はあとふるコンサートVol.7」が行われました。4人のメンバーのうち2人(星久美子・山本和香)が会員ですが今回は都合により山本さんは欠席でした。(次回は参加の予定です。)プログラムはそれぞれのソロと童謡や愛の歌のメドレーをアンサンブルで…と趣向を凝らしたもので会を重ねるごとに深く温かい内容となり好評を得ています。またゲストの演奏も(今

回はフルート)楽しみの一つです。次回は2020年秋を予定しています。(星 久美子・音楽S52卒)



「さとうのつめあわせ」出版記念イベント

おかげさまで6月22日に私の40代の総まとめ的作品集「さとうのつめあわせ～まったりこってり黒糖風味～」がポエムピースより発行となりました。全国の書店、amazonなどで購入できますのでどうぞよろしくお願いいたします。仙台市大町にある坐カフェでは出版記念展や出版記念ライブも開催し、宮城江古田会より素敵なお花を頂戴しました。ありがとうございました。(佐藤 円・放送H5卒)



ピアノ舞石美和さんと私

宮城江古田会総会

6月22日

宮城江古田会総会・懇親会は、ピアノサロン・ルフランに、21名のゲスト、会員を集めて盛大に行われました。総会では平成30年度の活動報告・会計報告、また令和元年度の活動計画や予算などが議題となり、すべて承認されました。この場で、旧友との再会劇もありました。当会員である宮崎晴夫さんが、田上校友会会長と学部同期。卒業以来40年ぶりの対面となりました。(酒井健樹)

当時、彼は空手部、私は自動車部に所属し、同じ運動部連盟の仲間として芸術祭の時は裏方として行動を共にしました。また同じ学年でもあったので、仲のいい友人として、ともに語らい、飲みに行くなど、楽しい学生生活を送らせてもらいました。彼のおかげで、遊びの幅も広がったものでした。

ある時、彼が学校に乗ってきた古いベンツで、海にドライブに行った時のことでした。その帰り道、もう夜中になっていたと思いますが、交差点のど真ん中で、その古いベンツが突然動かなくなりました。やむなく、私ともう一人一緒に行ったテニス部の友人と二人で、後



ろから押す羽目になり、とんだドライブになってしまいました。これも忘れられないエピソードの一つです。

今年の総会時、彼は私を見るなり、私に抱きついて再会を喜んでくれました。感動の時でした。江古田で培った仲間は本当に良いものですね。

(宮崎晴夫・美術デザイン専攻・工業デザインS55卒)

日大創立130周年式典

10月4日

帝国ホテルで開催された「日本大学創立130周年」記念祝賀会には、宮城県校友会から遠藤前々支部長・深松前支部長・小野隆支部長・通信学部一条様・そして私、全国の校友1,300名が出席。田中理事長ご縁の津軽三味線で祝賀会がスタート、迫力満点でした。司会者の中になんと石原軍団の神田正輝さん！映画学科撮影コース専攻でカメラをまわしていたのが、逆に映される立場になるなんて。今は『生だ、旅サラダMCをやっています』と宣伝。日本大学がスポンサーだそうです。(桑折)



岩手江古田会

10月19日

10月19日第15回岩手江古田会総会が開かれ、長年会長を勤めた国分さんから鈴木勝博氏が会長に。県南の高校で物申すアクティブ現役校長。長年の労をねぎらい宮城から塚崎、酒井、桑折3人は三次会の冷麺まで付き合いしました。マッコリ美味かった！(桑折洋一)



宮城江古田会 新年会 令和2年1月18日(土)

伊達家伝統の御屋敷「鍾景閣」の会席料理で新年会です。仙台駅東口から会場までバスで送迎いたします。案内と“おもてなし”は森廣さん。会報同封用紙で出欠連絡宜しくお願いいたします。

日時:令和2年1月18日(土) 開始17:30 仙台駅東口観光バス乗り場 16:30 集合

会場:鍾景閣 仙台市太白区茂庭字人來田西143-3 Tel.022-245-6665

会費:5,000円 問合せ:酒井 Tel.090-5181-9050 sakaitakeki@gmail.com



【編集後記】・岩手江古田会からの帰り道は三陸道。台風～大雨の影響で途中2ヶ所程通行止。釜石ラグビーに合わせ三陸鉄道も開通したが土砂崩れで振り出しに。頑張れ岩手県！(K)・日大各県支部でも少ない宮城県支部女子部会のまとまりの良さに脱帽(S)・50歳を目前にして五十肩になりまして伊東鍼灸整骨院のお世話になってます(Ma)・お客様をビックリさせて感動してもらるように毎日ドキドキしながら接客してます(Mo)・この会報を作成中、鍾景閣の料理を紹介するNHK番組に森廣さんが

映っていました。会報でも江古田会会員の活躍の広がりを感じます。出演、発表、出版、講演予定のある方や、写真や短歌など趣味を極めている方、事務局にご一報ください。会員へメール告知や会報でご紹介いたします(T)。

発行責任者 桑折洋一

事務局 〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21

(有)アズシステム Tel:022-267-0894 Mail: koori@az-sys.co.jp

事務局 酒井健樹 Tel: 090-5181-9050 sakaitakeki@gmail.com